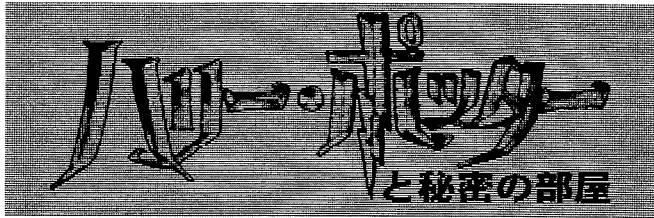




〈サロン・あべの〉2月の出会い

平成16年2月21日(土)、〈サロン・あべの〉2月の出会いは「ハリー・ポッターと秘密の部屋」のDVD鑑賞会でした。世界各国で読まれているJ・K・ローリング原作のベストセラーを映画化したもので、幼い頃に謎を持つ、人間界で育ったみなしの少年が、魔法使いたちの世界で魔法魔術学校を冒険する人気ファンタジーシリーズの第2弾。出演は



スほかに加えて、新しく、ケネス・ブラナー、ジョン・クリース、ジェイソン・アイザックス、ジェンマ・ジョーンズらが出演しています。

ドビーの出現を階下の叔父たちに知られまいと苦心するがそれがかえって騒動を引き起こすことになり、自室に閉じ込められてしまう。外部との接触を絶たれたハリーのもとに、ある夜、ハリーの同級生のロンとその兄弟が空飛ぶ車で迎えに来てくれた。窓の鉄格子を壊して車に飛び乗り、取りすがる叔父を振り落としてハリーたちは一路ロンの家に。ロンの家族は9人で、末っ子に妹ジニーがいた。魔法使いの家に初めて来たハリーは、見るものすべてが珍しく感動した。新学期が始まる前にハリーたちは、新しい学用品を買いに「ダイアゴン横丁」へ行く。そのためには、ロンの家の暖炉から一人ひとり呪文を唱えて消滅、移動をする。初めての経験であるハリーは、少しだけ間違つてロンの家族とは別のいかがわしい場

・ストーリー

前作「ハリー・ポッターと賢者の石」に引き続きダニエル・ラドクリフ、ルパート・グリント、エマ・ワトソン、リチャード・ハリ

に仕える「屋敷しもべ、ドビー」と名乗った。ドビーは、ホグワーツ魔法学校に戻つてはいけないうとハリリーに忠告する。ハリリーは

ハリリーは、ホグワーツ魔法学校の1年生を終え、魔法を全く信じないバーノン叔父さんの家へ戻つていた。ある日、大切なお客さんが来るのでハリリーは2階の部屋で静かにしているように言われた。ハリリーは自分の部屋に入ると思わぬ来訪者がいた。それは魔法の家

とハリリーに忠告する。ハリリーは

所に出てしまう。ロンを捜し歩いていると森番のハグリットに出会い、ロンやハーマイオニーがいる横丁に出る。横丁近くの本屋で新学期用の教科書「闇の魔法の防御術」の著者ロックハート先生がサイン会をしていた。スリザリン組のドラコとその父ルシウスも訪れていた。そこで学用品をそろえたハリーとロンたちは、空飛ぶ車に乗って学校へと向かった。

学校での授業が始まり、いろんな先生に魔法のことを教わっていく。ある日、廊下の壁に「秘密の部屋は開かれたり 継承者の敵よ、気をつけよ」と書かれてあったり、管理人の猫が石にされてしまう事件が起きた。また、女子トイレでは「嘆きのマートル」という幽霊少女が漂っていた。ハーマイオニーは思い切った授業で「秘密の部屋」の伝説の

事を先生に聞いてみた。ホグワーツ魔法学校は偉大な4人の魔法使

い「グリフィンドール」、「ハッフルバブ」、「レイブンクロー」、「スリザリン」によって創設された。その4人の名前が各寮の名前になっていた。スリザリンは、魔法は魔法族だけに教えるべきと主張し、他の3人と意見が相違した。この問題でスリザリンは学校を去った。その時、学校のどこかに「秘密の部屋」を作り、自分の真の継承者が現れるまで誰も開けられないようにし、継承者のみが封印を解くという。また、その部屋には怪物が棲むという伝説もあった。教授たちが何度も学校を探索したが「秘密の部屋」の存在は判明しなかった。

魔法学校では、「秘密の部屋」や「継承者」のことで、ハリーのことが噂になる。スリザリンのシンボルが「蛇」であり、ハリー



DVDのジャケット

があるきっかけで「蛇語」を話せることを学校の生徒たちに知られていたからだ。ハリーとロン、ハーマイオニーたちは伝説を知ろうと変身薬を作ってスリザリン組の生徒ゴイルとクラッブに化けた。それでドラコから「父の話で50年前、秘密の部屋が開いたことや一人の少女が死んだ」話を聞き出した。「秘密の部屋」が存在することを知ったハリーたちは「嘆きのマートル」がいた女子トイレで、水浸しになった「トム・リドル」と書かれた日記を拾う。その日記に「秘密の部屋」の事について問いただすと、ハリーは日記の中に吸い込まれてしまった。そこは50年前のある日、リドルが学校にいた頃、ハグリットが秘密の部屋を開き、少女がハグリットの怪物で死んだのではとの疑いが記録されていた。ハリーはハグリットから真実を聞

**\*スタッフ**

監督：クリス・コロンバス  
 脚本：スティーブ・クローヴス  
 撮影：ロジャー・プラット  
 音楽：ジョン・ウィリアムス  
 美術：スチュアート・クレイグ  
 編集：ピーター・ホネス  
 原作：J. K. ローリング

**\*キャスト**

ハリー：ダニエル・ラドクリフ  
 ロン：ルバート・グリント  
 ハーマイオニー：エマ・ワトソン  
 ギルドロイ：ケネス・ブラナー  
 トム：クリスチャン・コールソン  
 ドラコ：トム・フェルトン  
 ジニー：ポニー・ライト

こうとしたが出来ず、森に住む  
 ペットの犬クモ「アラゴク」に  
 遭う。ハグリットは無実で秘密  
 の部屋の怪物は自分ではなく、  
 その怪物は城の中から生まれ  
 と聞く。

学校に戻るとハーマイオニー  
 が石にされていた。手の中には  
 古い本のある頁を握りしめてい  
 た。そこにはバジリスクという  
 巨大な毒蛇のことが書かれてい

た。ハリーは「秘密の部屋」の怪  
 物はバジリスクであることを  
 知った。ハーマイオニーの災難  
 に続き今度はロンの妹ジニーが  
 「秘密の部屋」に連れ去られた  
 と、学校の壁にスリザリンの継  
 承者が伝言を残していた。

ハリーは幽霊「嘆きのマー  
 ル」から、50年前に死んだ少女で  
 あり、その場所が女子トイレの  
 手洗台である事を聞く。その

壊れた蛇口に「蛇」が彫られてい  
 るのを発見する。そこが「秘密の  
 部屋」の入り口であった。ハリー  
 はそこから「秘密の部屋」に忍び  
 込んで、大蛇「バジリクス」に遭  
 う。その傍らにロンの妹ジニー  
 が仮死状態で横たわっていた。  
 ハリーは大蛇に運命の対決を挑  
 んで行く……。

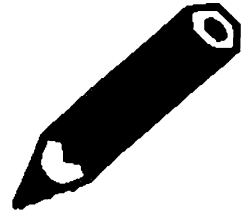
鑑賞の幕間にしばし休憩

この日、田辺大根の形を模し  
 た「大ちゃんパン」の提供があり  
 ました。郷土の野菜が見直され  
 ている中、田辺大根も復活しま  
 した。その田辺大根を入れたお  
 総菜パン、名づけて「大ちゃんパ  
 ン」が生まれました。そのパンを  
 頂きながらお腹の中も魔法にか  
 かった（サロン・あべの）2月  
 の出会いでした。

参加者16名（山村貴司）



2



邦子、  
..ん歳の手習い。

ノースシヨア身体障害者

リソースセンター②

今回は、ノースシヨア身体障害者リソースセンターのサービス内容をジョンさんのお話を中心にご報告します。センターのサービス内容としては、障害者への情報提供やアドボカシー活動などがあげられます。電話、リソース図書館での情報提供が主で、リソース図書館には本、テープ、ビデオなどがあり、公開教育プログラムなどの障害者に関係した話題の提供を行っている

ます。また、2台のコンピュータが、センターを訪れた人がインターネットを使って情報を得られるように備え付けられています。日本と同様に、障害者の介護費用の情報は、特に大切であるということでした。

このセンターは、障害児の親が中心になり設立されたという経緯もあり、障害児とその家族をサポートするサービスは特に充実しているようでした。幼児開発プログラムでは、発達に遅れを生じている誕生から3歳までの子供を持つ家族への家庭内相談とサポートを行っており、定期的に専門家が家を訪問しています。また、障害児を持つ両親が、定期的に集まる話し合いの場を提供しています。3歳から18歳までの子どもには、ケアワーカーが、その子ども独自の発達目標を確認し、その目標を達成する援助を行っています。5歳から18歳向けのティーンエイジャー向けのサービスとしては、コミュニティ活動やレクレーションの援助などを行っています。レクレーションの内容としては、学校の夏休み中のグループ活動やサマーキャンプを行っている

サロンの一筆箋

一冊一〇〇枚綴一五〇円

て、昨年のキャンプには120家族が参加したそうです。このように障害児の発達段階に応じたきめ細かいサービスを行っていますが、19歳からそれらのサービスへの政府からの援助がなくなるので、19歳以後は別のサービスで生活上の技術の獲得を考えていかなければならず、誕生から18歳までとそれ以後のサービスが変わってくるという問題があるということでした。

次にコミュニティの一部として生活するために居住サービスが大切です。1978年に5人の障害者を持つ子供たちのための最初のグループホームが始まりましたが、現在ではノースシヨアに四つのベッドを備えた住居が11カ所となり、そこに住む障害児・者に居住サポートが提供され、自立とコミュニティ参加への機会を最大限にする援助をしています。

カナダでは、1981年の「国際障害者

年」、その後の「障害者の10年」を契機として伝統的医療モデルから環境・社会・経済障壁の克服へ政策方向が定められ、地域を生活拠点とする政策を拡大し、予算も施設から地域へと転換する政策が促進されました。そして、専門家による機関だけでなく、消費者組織やグループ、家族、支援者などを含む多様な組織が関わり、これまでサービスの受給者であった当事者が支援を提供する主体として参加することが諸州の政策に位置づけられました。

このようなカナダの障害者政策の中で、ノースシヨア身体障害者リソースセンターはNPO組織として発展してきました。日本でも、最近、地域の中で、自立生活センターが出来、障害者を多方面にわたって支援しており、障害当事者の活動などを含めて、カナダのこのセンターに劣らないサービスを提供しています。しかし、カナダでは、地方分権制に基づく地域を生活拠点にするという政策面での方向付けが明確に示され、公的責任部分や公的保障については日本よりも優れていると感じました。

(定藤邦子)

穴といえばドーナツの穴、れんこんの穴、ちくわの穴などの食物とともに「同じ穴の貉(むじな)」という諺が連想される。「穴をあける、穴のあくほど見る、穴を穿つ、穴を埋める」という諺もある。

人間の身体をはじめ哺乳動物には9穴があるといわれている。すなわち両眼、両耳、両鼻孔、口、前陰、後陰、の九つの穴だが、それぞれに役目を果たし、どれひとつ塞がってもつまっても大変なことになる。

ところで3月といえばそろそろ冬ごもりをしていた虫たちが土の中から穴をあけて地上に出てくる「啓蟄」ということばが浮かんでくる。虫だけでなく私もこの頃からだんだん身体が軽くなり、動きやすくな

る。だからきびしい寒さの冬はあまり好きではなく、あたたかい春が待ち遠しいのである。この春も他の季節と同じように一気にやってくるのではなく、次のような順序で訪れるという。

- (1) 光の春
- (2) 温度の春
- (3) 本格的な春

なるほどそういえば2月になると陽光がひときわ明るくなり、3月になると東風が吹き始め、気温もぐんぐん上昇する。そして4月になると桜や色んな花が咲き、大空には小鳥

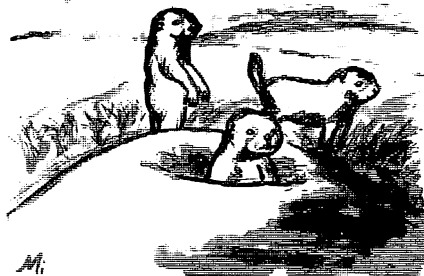
が舞うようになり春本番を迎えるのである。

最近、私はごう慢な態度をしたり、てんぐになつたりして恥ずかしい思いばかりしているので、穴があれば入りたい心境である。

## 晴れのち晴れ 66

穴(あな)

稲垣恵雄



訪問の価値



明治時代の小説を読むと、人がやたらに訪問しあっている。ガラガラと戸を開ける音がして「こんにちは」と聞こえたら、「はい」と家の者は応える。すると訪問者は「近

くに来たから、ちよつと寄つてみたよ」と言う。「さあ、どうぞ」と言われれば、気軽に家のなかに入っていく。私の周囲では、もう見かけない風景である。

電話が普及していない時代だったから、話すためには訪問するしかなかったのだろう。また電話がなかったから、訪問する前に相手の都合を聞くという習慣もなかった。突然ふらりと現れ、ふらりと立ち去る。以前は、そんなことが許されていた。

私はそんな時代を羨（うらや）ましく思う。訪問すれば、いろんなことがわかる。家を見れば、どんな暮らしぶりをしているかがわかる。家具や調度品、飾られている絵や写真、整理され、あるいは放置されている本や雑誌類を見れば、その人の趣味や価値観がわかりそうなものだ。家族にも会えるかもしれない。家族とその人との語らいの一面に接することで、その家庭の様子が見えってくる。

\*好評のエッセイ\*

岡 知史著

知らされない  
愛について

700円

ほんの少しの  
神に近い部分

700円

つまり、訪問するということは、その人の生活空間に入ることであり、他の場所では決してわからないようなことも見えてくる。隠していることさえ現れることがある。だから訪問しあうことは互いの信頼関係を築くためには何よりの方法だったのだと思う。訪問に代わって出てきた「電話」という手段は便利ではあるが、相手の生活は何も見えない。顔も表情も見えない。家族にも会えない。家には家の臭いがあるが、それに気づくこともない。

## 地域で暮らすということ

気温が上がり、出歩くのも楽しい昨今になりました。私は時々電動車いすで商店街などに出掛けます。日用品や食材などかなりかさばる買い物ですが、電動に乗っているお陰で重さを考えずに買うことが出来ます。しかしながら、買った品物を車いすの後ろ手に掛けるのは容易ではありません。そんな時、お店の人は「どこに掛けましょうか」と問ねてくれます。顔なじみのお店では言わずもがなで、定位置に掛けてくれます。そんな時ありがたいなと思うのです。以前でしたら車いすで商店街を通ると迷惑顔で振り返られたりしましたが…。今はお年寄りも車いすでお買い物されているのをよく見かけるようになりました。和やかにお店の人と話をしたり道行く人と言葉を交わしたりする、このような光景が地域で暮らす一場面ではないかと思えます。4月からは新しいアクションプランが始まるそうです。一人ひとりが暮らしやすい安心のネットワーク作りが目的で、行政や専門家を縦糸に、隣・近所を横糸にして進められるそうです。どんな生活を日々過ごしたいかは、人それぞれと思いますが孤立化を防ぎ、物の見方を多様に考えてお互いに認めあえる地域社会であってほしいと思えます。「地域福祉と社会福祉」という言葉は難しいですが、隣・近所の喜び事や悲しみ事にそっとお互い気づき合える距離が持てればと思えます。(け)

## ……ききみみずきん

しかし、電話なら、それでも生活の断片が聞こえてくることもある。受話器をとったのが、その人の子どもであり、その子が親を呼ぶ声を耳にすることで、その家庭の様子が少しはわかる。そうでなくても、声の調子や話し方で、その人柄や言葉にされている気が感じることが出来るものである。最近では電話の代わりにメールが使われる。こうなると発信した人の生活の様子は全く現れない。家族が出てくることもない。そこに込められたはずの感情もほとんど伝わっ

てこない。病気になるって寝込んだとき、明治時代なら友人が訪ねて来てくれただろう。ところが、いまだではお互い電話も掛け合えないかもしれない。その代わりに「お元気ですか。回復をお祈りします」というメールが届く。その文字のなんと味気ないことか。しかし、私たちの大多数は、やがては、そんなもので満足しなければならぬ時代を迎えるのだろうか。

かといって訪問しあうのには、たいへん

な時間がかかる。交通機関が便利になったために、多くの人は遠くから通い、遠くで働いている。結果として日ごろ親しい人は遠くに住んでいる人たちばかりになる。訪問しあう機会はいっそう減っていくばかりだろう。しかし、こんな時代だからこそ、訪問には価値がある。心を開くだけではなく、住んでいる場所を開くことで、私たちはより信じあえるようになるのかもしれないのだから。

(知)

私達が待っていた入所施設解体宣言が平成

気持ちで読みました。

全入所施設「解体」宣言が出ました。

感動と、やはり日本はまだまだ遅れているな  
あという、諦めの感情が同時に起こり複雑な

てい無理だと考えられます。

うに宮城県の中だけで入所施設をなくしてい  
くことは予算や制度不足の問題もあり、とう

# 美智子のこんな話

岸田美智子

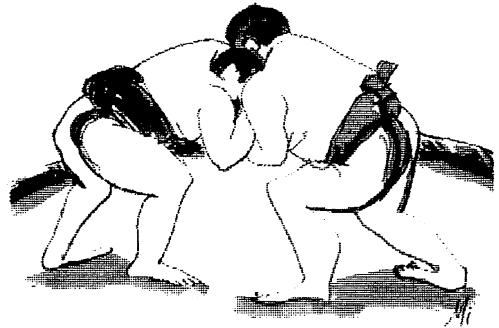
16年2月20日付朝日  
新聞朝刊(1面・34面  
||次頁)に掲載されま  
した。

私はてつきり厚生労働省から全国規模で、  
このような宣言が出たのかと思つたのです。  
でもそうではなく、宮城県だけだったので  
す。厚生労働省のコメントは、方向は同じだ  
が、入所施設がまったくなくなつていかど  
うか議論が必要だ。宣言は問題提起であると  
言っています。この記事にも書かれているよ  
うに宮城県の中だけで入所施設をなくしてい  
くことは予算や制度不足の問題もあり、とう

私はこの記事を見  
て、「やっと出た  
か!」という嬉しい

## お知らせ

### <サロン・あべの>4月の出会い



内 容…大相撲<サロン・あべの>場所  
~相撲おもしろ話~

お客さま…山浦孝臣氏

(社会福祉法人 大阪府肢体不自由  
者協会障害者自立生活支援センター  
「いきいき」 常勤職員、ピアカウ  
ンセラー)

日 時…4月17日(土) 午後1時~4時

場 所…育徳コミュニティセンター2階  
研修室(スロープ・車いすトイレ有)  
大阪市阿倍野区阪南町5-15-28  
TEL 06-6621-1901  
最寄り駅=

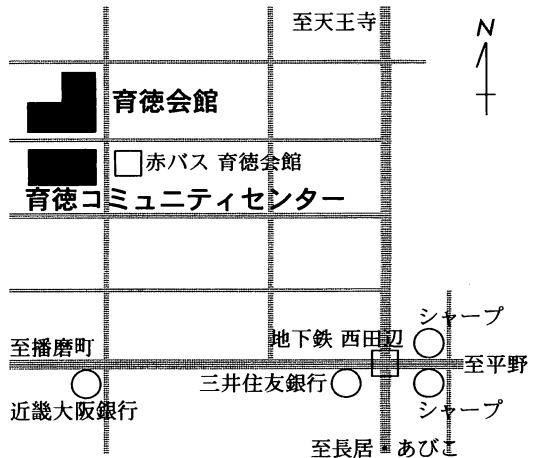
地下鉄御堂筋線「西田辺」

赤バス「育徳会館」下車すぐ

会 費…なし

問い合わせ先…

TEL 06-6691-1028 (富田慶子)







## 誰でも参加できる場所へ

### 第22回

新しいことが始まります。

林 典生

この「誰でも参加できる場所へ」は今回を含めて、あと3回で終わります。

当初、12回くらいで終わる予定をしていましたが、八幡市のコミュニティガーデンディアレストを立ち上げるときに、ガーデン作りをしている主要メンバーの中に「サロン・あべの紙」を呼んでいる方がおられ、その方の熱い要望もあって、連載の延長をしてみました。とはいえ、私自身、あまり長いのもうかかなと気にはなっていました。そんなとき、私に（サロン・あべの）をご紹介くださった方と同席する機会があり、その方から「少し長すぎるのではない

か」とのご指摘を受けました。

それにコミュニティガーデン活動ではないのですが、博士号を授与されることになり、来年の3月まで、その準備に専念したいといけない時期に入りました。

本稿は終わりますが、八幡市のコミュニティガーデン活動はこれからも続けていきます。学生や地域住民が参加出来るように、今後とも変わりない支援をしていきたいと思っています。さらに、私の所属している園芸療法研究会西日本で、大阪府柏原市社会福祉協議会と一緒に活動もしていきます。

その具体的な内容は、一人暮らしの高齢者の方々や障害を持っておられる方々が、地域の公園でコミュニティガーデン作りをしていけるように支援をしていこうと思っています。つまり、柏原市の社会福祉会館のよこにある児童公園を使って、ボランティアを養成しながら、コミュニティガーデン作りをしていくということを企画しています。

これには、場所の下見に行ったり、参加者を募ったり、活動を支えてくださるボラ

ンティアの募集もしなければなりません。そして、少ない運営費の中で、どのように費用を回していくかを考えていく必要も生じてきます。これは結構難しい問題で、頭を悩ませながら計画書や予算書を作成しています。

このようなことは私どもに限ったことではなく、どこにもあるようです。去年の4月に国土交通省の支援を受けて、都市緑化基金という財団法人が主体となって、コミュニティガーデンネットワークが結成されたのですが、国の支援をもらうのがなかなか難しく、活動自体が進んでいないという話を聞くにつけ、大変さが身にしみて感じられます。

ありがとうございました。

カンパ、お茶菓子・コーヒー・大ちゃんパンのご寄贈、サロングッズのお買い求めなど、ありがとうございました。（敬称略・順不同）  
稲垣恵雄、滝本涼子、寺岡富子、土井瑞代、仲田孝史、山村貴司、その他の方々。



SALOON

読者コース

### ■「サロン淀川」4月の出会い

日時：4月18日(日)午後1時30分～4時  
内容：ビデオ「火垂(ほたる)の墓」鑑賞会  
野坂昭如原作、高畑勲監督作品  
昭和20年の夏、焼け野原に腹ペコで立っていた兄妹、どうすればよかったのだろうか。

場所：淀川区民センター「やすらぎ」  
大阪市淀川区三国本町2-14-3

会費：なし  
問合せ先：淀川区社協(ボランティア・ビューロー)  
☎06-6394-2900

E-mail: sorajii@iris.eonet.ne.jp

### ■「サロン・ひらの」4月の出会い

日時：未定  
内容：未定  
場所：未定  
会費：未定

問合せ先：安達 ☎090-7755-7899  
ここにこセンター ☎06-6795-2525

### ■「サロン・にし」4月の出会い

日時：4月10日(土)午後1時30分～4時  
内容：おじゃみを楽しもう!  
場所：西区在宅サービスセンター6階ビューロ室  
大阪市西区新町4-5-14

会費：なし  
問合せ先：関口 ☎090-4281-5641

### ■「サロン「アイ」4月の出会い

日時：4月10日(土)午後1時30分～4時  
内容：肝っ玉姉さん、ヨーロッパに行く  
パネラー：堅川知子氏  
場所：「おかちやま」2階ボランティアルーム

大阪市生野区勝山北3-13-20

会費：なし  
問合せ先：生野区社協(ボランティア・ビューロー)  
☎06-6712-3101

### ■「てくてく・すみよし」4月の出会い

日時：4月18日(日)午前10時～午後3時  
集合場所：JR天王寺駅北口・改札前  
内容：天王寺動物園へ行こう。カバ・カバ・カバ  
場所：天王寺動物園 ☎06-6771-8401  
会費：500円  
申し込み締め切り：4月15日  
申し込みと問合せ先：山本篤江 ☎06-6692-8411  
携帯090-5168-5977

### ■「サロン・つるみ」4月の出会い

日時：4月4日(日)午後1時30分～4時  
内容：貝がらから金魚  
～あさりやしじみの貝がらを使って金魚  
作りにチャレンジ～

パネラー：吉住てる氏  
場所：鶴見会館2階  
大阪市鶴見区横堤5-5-51  
問合せ先：鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)  
田村 ☎06-6913-7070

### ■「サロン・にしよど」4月の出会い

日時：4月24日(土)午後1時30～3時30  
内容：ふれあい音学会  
ゲスト：「西淀川ワークきさらぎ」のみなさん  
場所：西淀川区在宅サービスセンター「ふくふく」  
大阪市西淀川区千船2-7-7  
会費：なし  
問合せ先：西淀川区在宅サービスセンター  
☎06-6494-0635  
中本 ☎090-9864-9678

### ■「サロン・いたみ」4月の出会い

日時：4月3日(土)午後1時30分～  
内容：お花見  
場所：市立伊丹スポーツセンター  
問合せ先：砂脇 ☎0727-84-0057

声で読書のお手伝い

音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で〈サロン・あべの〉紙第212号の音訳テープが出来ました。

■音訳テープ文庫

- (a) 〈サロン・あべの〉紙は、第1号より第212号までそろっています。
- (b) 〈サロン・あべの〉十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「〈サロン・あべの〉平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一二著＝糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸で

んわ音訳)

- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ほけつと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
- (r) 「勁くしずかに」(河野勝行 編・著＝糸でんわ音訳)
- (s) 「たまごが ポン!」(稲垣恵雄著＝糸でんわ音訳)
- (t) 阿倍野名所旧跡いろはがた(猿田博＝糸でんわ音訳)
- (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著＝糸でんわ音訳)

ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをします。富田 (☎06・6691・1028) まで。

一九九九年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)

寄りみち



「ハリー・ポッターと秘密の部屋」。前作同様、映像も、美術も、特殊撮影もよく、短いカットにも凝ったテクニックが使われていて、見るものに伝わってくる本物感はなかなかのもので、ファンタジーとしては、魅力的な作品です。が、今回も2時間余に収めようとするため、全体に圧縮したストーリーの展開になっているのは否めません。もう少しじっくりと物語も見せてほしかったなあ・・・(石)

<サロン・あべの>VOL. 213 発行:平成16(2004)年3月20日 定価¥100  
 編集人:<サロン・あべの>運営委員会 表題:中西利香・筆 文中イラスト:石田美彌子  
 事務局:〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座:サロン・あべの 00950-9-26941  
 印刷:セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212  
 本紙はホームページでもお読みいただけます。書庫は、<http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/>